

古くて新しい植物

お お あ さ

# 大麻



今の日本では綿やポリエステル製の服が一般的である。しかし、江戸時代初期まで、衣類だけでなく日常の布製品の多くが、麻製であったことを知っている人は少ないだろう。本誌では、本当は日本人になじみ深い「麻」について、麻製品の製造販売を手掛ける(有)菊屋の代表にお話を伺った。



みしまなおや  
三島直也氏

プロフィール  
有限会社 菊屋 代表取締役  
所在地：静岡県磐田市  
初代三島昇が1951年(有)三島屋ふとん店を創業し、1978年に屋号を(有)菊屋に変更。  
2023年6月に3代目が現取締役に就任。  
大麻(ヘンプ)製の寝具や衣服、蚊帳を製造し、インターネットを中心に販売。安眠提供企業として、睡眠を通じて人々に幸せを提供することを目指している。

## 多孔性の麻は 寝具との相性が高い

— 菊屋の沿革を教えてください。  
1951年に三島屋ふとん店と

して創業しました。当時は地域の布団屋さんとして、商品をメーカーから仕入れて、販売をしていました。蚊帳が欲しいというお客様からの声を聞いた先代が、インタ

ーネット黎明期である1997年に、蚊帳のインターネット販売を始めます。初めは少なかった売り上げも、爆発的に増えていき、2005年からは大麻・ヘンプで

蚊帳も作り始めました。

現在はヘンプ糸を海外から仕入れ、地元有機屋さんで生地にし、製品にして販売しています。寝具や蚊帳だけでなく、衣服、日傘、帽子、マスクまで大麻・ヘンプのものを取り揃えています。

## — 麻の優れているところは何かですか？

多孔性の麻は、吸湿性や速乾性があり、通気も良く寝具との相性が非常に高い植物です。

人間は寝ている間にコップ1杯分の汗をかくと言われています。ここでいう汗とは、滴り落ちる液体の汗ではなく、蒸気としてかく汗のことを言います。

化学繊維の寝具の場合、天然素材の寝具と異なり、汗の吸収が悪かったり乾きにくかったりと、汗のべたつきが原因で蒸れを感じ、安眠を妨げることが少なくありません。綿素材もいいのですが、乾きのことを考えると麻が優れていると言えます。

## 夏はひんやり 冬は温かい

— 麻にはいろいろな種類がありますね。

麻は世界に20種類ぐらいあり、リネン(亜麻)、ラミー(苧麻)などは、ユニクロさんや無印

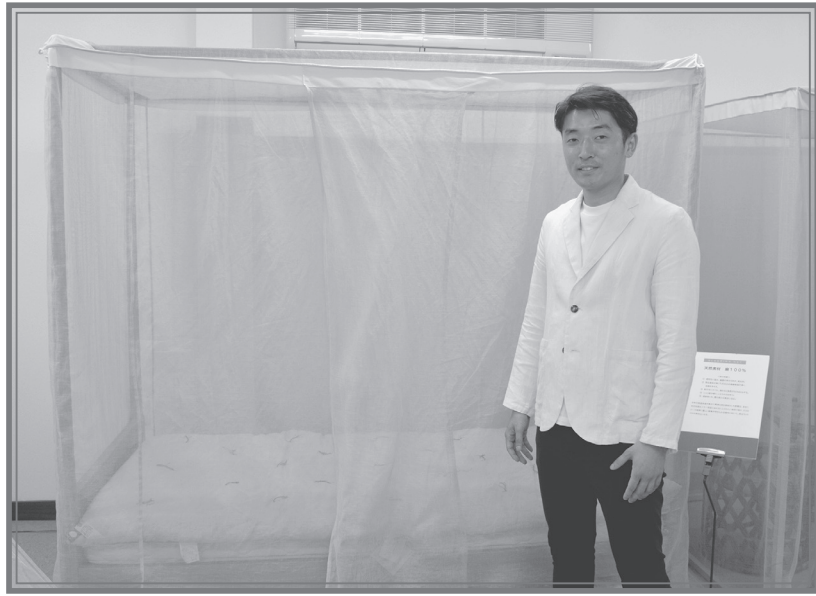
さんの製品にも使われています。うちではヘンプ、いわゆる大麻草からとれる繊維を製品に使用しています。

どれも麻なので、通気性、吸湿性、速乾性は優れています。ヘンプ製品は熱の伝導性が優れており、自分自身の体温に近い快適な触れ心地にすぐになつてくれます。夏はひんやり気持ち良く、冬は冬で温かいというところがヘンプの強みです。

ほかに、脱臭効果や抗菌作用もあります。大麻草は害虫に強く、農薬や化学肥料をほとんど使用せずに



お子さんにも使える「ワンタッチ蚊帳」



菊屋の代名詞であるヘンプ製の蚊帳。遠方から買いに来る人がいるほど、ヘンプに魅了される人が増えている

あとは、蚊帳の中やヘンプ製品をまとっていると、電磁波や静電気を防いでいる感覚になる人もいます。化学的な根拠はなかなかないのですけどね。  
日本に古くから伝わる大麻草（ヘンプ）が、何かを守ってくれてい

### 数千年も残る耐久力

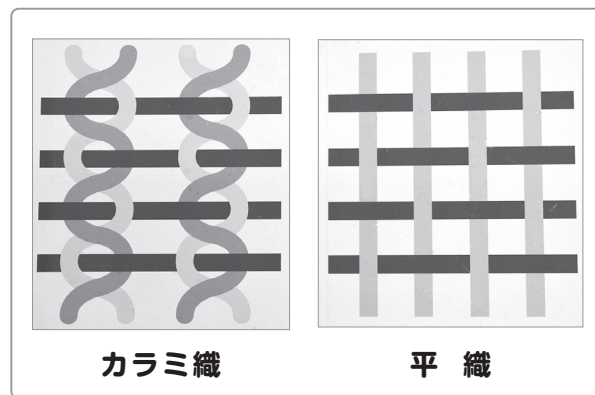
—— 御社の製品の特長を教えてください。  
ヘンプ糸を海外から仕入れて、製品化し販売しているところは少なく、さらに寝具店というところほとんど存在しません。  
菊屋では、遠州地域に伝わる「カラミ織」という、経糸2本をねじらせながら緯糸を差し込む織り方

っては身近な植物でした。稲作よりも古い時代から利用され、根本から葉っぱまで何かしらの使い道があります。もちろん法に触れるようなことがあってはならないですが、現在でも神社の御札には神宮大麻という名前が残っているほど、かつてから日本に浸透している植物なのです。  
欧州ではBMWなどの自動車メーカーが、車の内装材として一般的に使い始めているくらい、今後ますます注目される素材だと思います。

を採用しています。カラミ織だと洗濯しても目が崩れにくいので、ヘンプという天然素材で、かつお洗濯もできる製品を扱っているところは菊屋の強みです。

—— 耐久性はどれくらいあるのですか？

カラミ織は、漁網に使われている織り方であり、耐久性にも優れています。ヘンプ自体もすごく丈夫で長持ちする素材です。綿は



漁網に使われているカラミ織は丈夫で目崩れにくい



通気性、吸湿性、速乾性に優れたヘンプは寝具に最適

るのではないかとという、そういう方たちも集まって来て喜んでくれています。県外からもふらっと磐田市まで来てくれる方もいて、ヘンプに魅了される人が増えているなど感じています。

### 安眠提供企業としての使命

—— 今後の展望を教えてください。  
うちはヘンプの枕や蚊帳をただの商品とは捉えていません。点と面と空間、その先に世界と繋がっていると思っています。点である

100年程度が寿命と言われていますが、ヘンプの場合は、古代エジプトのミイラの包帯など、紀元前のものが現在でもそのままの形で残っているほど、耐久性が高いです。

紫外線にも強く、その特性を活かして、ヘンプ性の帽子や日傘も販売しています。あらゆる生活用品にも使える素材だと思います。

—— お客様の反応はいかがですか？

汗をよくかく人は「ひんやりして気持ちいいから、夏にすごくいいよね」と喜んでくれてます。

ほかには、少しスピリチュアルな話にもなってしまうのですが、神社とか日本の昔からのものを大事にしている人の中には、不思議なパワーを感じると言ってくれる方もいます。持っていると癒されるとか、リラクセスできるみたいな声です。

枕、面である敷寝具・掛寝具、空間である蚊帳、それらを使った人が健康で幸せになることで、空間の先にある「地域」や「国」、そして「世界」が、睡眠を通して健康になると考えています。地球にも優しい素材を中心とした菊屋の点や面や空間をきっかけに、皆様に「睡眠を通して健康で幸せにすること」、「幸せの連鎖を広げること」こそ、我々菊屋の安眠提供企業としての使命だと考えています。

（聞き手・文 和田孔之）

〒438-0078  
静岡県磐田市中泉235  
Tel 0538-35-1666  
<https://anmin.com/>